

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-57105

(43) 公開日 平成8年(1996)3月5日

(51) Int.Cl.⁶

A 6 3 B 71/06

識別記号

T

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 2 F D (全 4 頁)

(21) 出願番号

特願平6-217976

(22) 出願日

平成6年(1994)8月18日

(71) 出願人

393011304

株式会社ツル研究所

愛媛県松山市余戸西4-1-7

(72) 発明者

鶴身 学

愛媛県松山市南江戸4-9-1

(74) 代理人

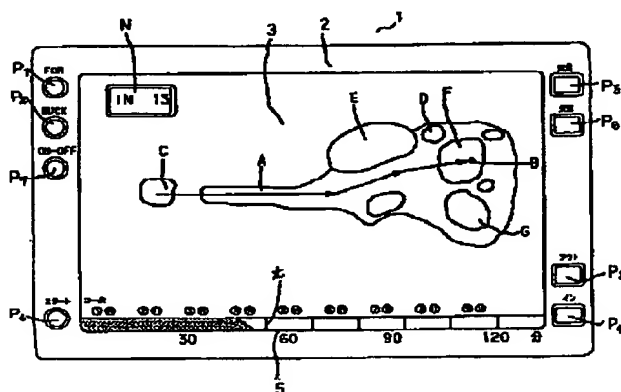
弁理士 菅原 弘志

(54) 【発明の名称】 ゴルフ用データ表示器

(57) 【要約】

【目的】 ゴルフ場でのゴルフプレイに際して、プレイの進行を早めるため、各プレイヤーがホールレイアウト、当日のカップ位置等を直接知ることができるようにする。

【構成】 ゴルフ場の各ホールのレイアウト、ホールナンバー、パッティンググリーンのカップ位置等のデータを記憶するメモリと、該メモリに記憶されているデータを各ホールごとに切換表示する液晶表示のディスプレイと、該ディスプレイに表示するホールを選択する入力手段とを携帯可能なボード状本体に組み込んでなるゴルフ用データ表示器。スタートから現在に至るまでの消費時間を表示するタイムスケールを設けておけばさらに便利である。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ゴルフ場の各ホールレイアウト、ホールナンバー、パッティンググリーンのカップ位置等のデータを記憶するメモリと、該メモリに記憶されているデータを各ホールごとに切替表示する液晶表示のディスプレイと、該ディスプレイに表示するホールを選択する入力手段とを携帯可能なボード状本体に組み込んだことを特徴とするゴルフ用データ表示器。

【請求項2】 スタートから現在に至るまでの消費時間を表示するタイムスケールが設けられている請求項1に記載のゴルフ用データ表示器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、ゴルフ場でのゴルフプレイにおいて、プレイ進行の補助機器として使用されるデータ表示器に関するものである。

【0002】

【従来の技術】ゴルフ場では、先行のパーティが打球の届かない安全圏に去ってから後続のパーティがプレイを開始するので、各ホールにおける各パーティのゲームの進行が速いほど、換言すれば、一つのパーティが9ホールを回るに要する時間が短いほど、限られた時間内で多くの人が効率よくプレイすることができる。通常のコースでは、9ホール（ハーフ）を回るに要する時間を2時間半程度と見積もって一日のプレイ可能人数を決めているが、この9ホールを回るに必要な時間を節約し、例えば2時間で回るようにすれば、現状の2時間半に比べて1日でアウト・イン各5組、計10組程度（約40人）の増員が可能となり、プレイを希望する人の要望に応えることができるとともに、ゴルフ場にとっても売上が増加するので好ましい。

【0003】また、1組でもゲームの進行の遅いパーティがあると、後続のパーティの待ち時間が多くなり、多くの人に迷惑をかけることになるので、従来は、先行のパーティとの間隔を目安に、これがある程度以上に大きくならないよう、キャディがプレイヤーを急がしてゲームの進行を早めるよう努力していた。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】ゴルフ場におけるゲーム進行の遅延は、プレイヤーが各ホールのレイアウトやカップ位置を知らないことによっておこる場合が多い。各プレイヤーがホールのレイアウトや当日のカップ位置を知っていれば、少なくとも、これらをキャディに問い合わせたり、ハザードの位置にボールを打ち込んだりすることによる時間の浪費を節約できるので、ゲーム進行を速めることができる。そこで、本発明は、プレイヤーがレイアウト等のデータを簡単に知ることができる補助機器を提供することを課題としている。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するた

2

め、本発明は次のような構成を採用した。すなわち、本発明にかかるゴルフ用データ表示器は、ゴルフ場の各ホールのレイアウト、ホールナンバー、パッティンググリーンのカップ位置等のデータを記憶するメモリと、該メモリに記憶されているデータを各ホールごとに切替表示する液晶表示のディスプレイと、該ディスプレイに表示するホールを選択する入力手段とを携帯可能なボード状本体に組み込んだことを特徴としている。

【0006】このプレイ用データ表示器に、スタートしてから現在までの消費時間を表示するタイムスケール部分を併せて設けておけば、ゲームの進行状態を客観的に知ることができるので、ゲーム進行を遅らせないためにより効果的である。

【0007】

【作用】予めメモリに書き込まれている各ホールのレイアウト、カップ位置等の情報が各ホールごとに液晶表示されるので、プレイヤーが一見してこれらの情報を知ることができる。ディスプレイに表示するホールは、プレイヤーやキャディが入力手段を操作して自在に選択することができる。この表示器は、携帯可能であるから、キャディが持ち運んだり、キャディカートに取り付けて運んだりすることができる。また、液晶表示であるから、消費電力が少なくすみ、軽量化が容易である。

【0008】

【実施例】以下、本発明の実施例について具体的に説明する。図1は本発明の1実施例を表すもので、このデータ表示器1は概略方形の本体ボード2を備え、この本体に液晶式のディスプレイ3が設けられている。本体内には表示装置を構成するプリント基盤、メモリ、タイマー、バッテリー等が収納されており、ディスプレイの外周部には表示切替用等の入力手段である押しボタンスイッチP1、…とともに、液晶表示のタイムスケール5が配置されている。

【0009】押しボタンスイッチP1、P2は表示切替用のスイッチであり、P1を押すことによって、ディスプレイに表示されるホールのレイアウトAとホールナンバーNが番号の少ないホールから多いホールに順に切り替えられ、P2を押すごとに、逆に番号の多いホールから少ないホールへ順に画面が切り替えられる。したがって、通常はスタートから1ホール終了するごとにスイッチP1を1回づつ押して、順に次のホールのデータを表示すればよいし、あるいは自動切り替えしてもよい。

【0010】ホールレイアウトAには、カップ位置B（図示例では黒丸印）、ティグランドC、バンカーD、ウオーターハザードE、パッティンググリーンF、補助グリーンG等とともにOBライン等必要なデータが表示される。ティマークの位置から主な目印の位置までの距離を併せて表示するようにするとさらに便利である。

【0011】スイッチP3、P4は、表示するコースの種類を選択するスイッチで、P3を押せばアウトコース

が選択され、P4を押せばインコースが選択される。また、P5、P6は送信スイッチと受信スイッチで、P5を押せばこのデータ表示器1のメモリに記録されている該当パーティーのプレー時間等のデータがキャデイマスター室等に設置されているホストのパソコンに送信され、P6を押せばホストのパソコンで設定された当日の使用グリーン、カップ位置等のデータが表示器に入力されメモリに書き込まれる。

【0012】スイッチP7は電源スイッチであり、これを押すと電源がON-OFFに交互に切り替えられる。ONの状態では、タイムスケールを除く表示部が作動し、上記レイアウト等のデータが表示される。なお、電源としては、専用のバッテリーを装着しておいてもよく、太陽電池や、カートのバッテリーを利用してもよい。

【0013】タイムスケール5は、ディスプレイの下部に横方向に配置されており、左端がスタート時を示し、右端がハーフコースを回るに必要な標準的な総所要時間となっている。そして、プレイを開始してからの実際の経過時間が内蔵する時計で計測され、右方向に向かって棒グラフ状に液晶表示されるようになっている。タイムスケールは縦の仕切り線も、…によって9分割されており、各区分の上縁部にはアウトコースとインコースのホール番号が各区分に対応させて順に表示されている。すなわち、タイムスケールの左端から、アウトコースの場合は1～9のホール番号が、またインコースの場合は10～18のホール番号がそれぞれの区分に割り振りされて表示されている。したがって各区分にはアウトコースのホール番号とインコースのホール番号とがそれぞれ対になって表示されている。

【0014】なお、スイッチP6はタイムスケールのスタートスイッチであり、これを押すと、タイマーが始動するとともに、経過時間が刻刻タイムスケールに表示される。タイムスケールにはハーフコースを回るに必要な標準時間が9分割されて表示されているので、液晶表示される実際の経過時間を対比することにより、プレイの進行が遅れているかどうかを直感的に把握することができる。

【0015】各ホールのプレイに必要な時間は、そのホールの難易度や距離によって相違するので、ホールのプレイに必要な標準時間を予め設定しておき、各ホールを仕切る線との間隔すなわち各区分の長さをその標準時間の長さに比例させておけば、さらに正確に進行状況を把

握することができる。

【0016】このデータ表示器は、キャデイがカートに取付たり身体に携帯したりして使用する。図2に示すように、衝撃防止用のカバー7で包んでおけば、使用中の落下事故等による故障を防止する上で効果的である。この表示器は、使用に先立って、ホストパソコンと有線または無線で接続して、該パソコンに登録されている必要なデータをメモリに入力しておく。特に、グリーンのカップ位置等は、その日によって変わることが多いので、毎日入力しなければならない。

【0017】プレイの開始に際しては、第1ホールのスタートと同時に、スタートスイッチP6を押してタイマーを始動させる。また、スタートするのがアウトコースかインコースかをスイッチP3、P4で入力し、最初のホールをディスプレイに表示する。これにより、スタート位置で当該ホールのレイアウトやカップ位置を一目で知ることができる。このため、無駄な時間を節約することが可能で、迅速にホールアウトすることができるのである。一つのホールを終了したら、スイッチP1を1回押して次のホールのデータを表示すればよいし、あるいは自動切り替えしてもよい。

【0018】

【発明の効果】以上に説明したように、本発明にかかるゴルフ用データ表示器は、各ホールのレイアウト、カップ位置等のデータがホールごとに順に切換表示されるので、プレイに必要なデータを一目で知ることができるようになり、無駄な時間を節約することが可能となるとともに、プレイの進行が遅れているかどうかを直感的に把握出来るようになる。このゴルフ用データ表示器は、表示手段として液晶表示のディスプレイが設けられており、全体が携帯可能な大きさにまとめられているので、消費電力が少なく、実用上便利なものとなった。

【図面の簡単な説明】

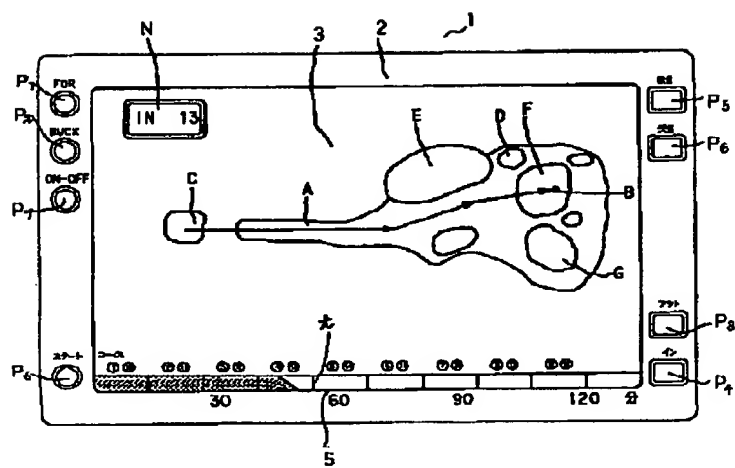
【図1】本発明の一実施例を表すディスプレイの正面図である。

【図2】その斜視図である。

【符号の説明】

- 1 ゴルフ用データ表示器
- 2 本体
- 3 ディスプレイ
- 5 タイムスケール

【図1】



【図2】

